



みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.67

令和4年(2022年)

11月1日発行

はまた 議会だより

主な記事

- 9月定例会議のポイント…………… 2・3
- 市民対談 (石見神楽) …………… 12・13
- 委員会活動レポート…………… 14・15

9月定例会議



今回はこれがポイント!

令和3年度決算を慎重に審議!

9月定例会議では、市長提出議案25件と議会提出議案3件、請願1件について審議しました。

議会提案の浜田市議会基本条例の一部を改正する条例は、ジェンダー平等の理念にのっとり多様な議員が議員活動を行うことができるよう配慮することなど、現在の活動及び取組に合った見直しを行い、広報広聴の充実などの新たな事項も追加しています。

令和4年度一般会計補正予算(第6号)では、給油所給油設備改修支援事業として生活に必要不可欠な生活基盤であるガソリンなどの石油製品の給油所の維持・確保のため、旭町にある和田給油所の地下タンク貯蔵に係る入れ替え、改修工事などの予算に666万6千円。また、個人番号カード交付事業としてマイナンバーカードの普及促進を図るため、インセンティブが終了となる10月以降の新規カード申請者に市から2,000円の浜田市共通商品券を配布し、また市役所に出向くことやインターネットでの申請が難しい人などに向けて、職員が出張で申請のサポートを行う事業として1,858万4千円が計上されました。

9月定例会議は予算決算委員会において、前年度の各事業の決算審査を行います。令和3年度決算認定として、一般会計の他、国民健康保険などの特別会計や水道事業の公営企業会計についてチェックを行いました。予算の執行状況などを見ながら、事業の有効性や妥当性を問いただしました。決算認定後に、目標設定並びに事業評価及び事業の運用方法の改善について、随意契約及び再委託について、水道事業の繰入金及び再委託についての3つのテーマを設けた附帯決議を可決しました。決算認定についての詳細は左ページ中段のトピックスや4、5ページをご覧ください。

トピックス

市内給油所施設の改修工事費用の一部を助成

消防法令の改正により地下貯蔵タンクからの油の流出防止対策が強化されたため、事業者の負担が増加しています。

その結果、各地で給油所の廃止が相次いでおり、特に中山間地域において、必要不可欠な生活基盤である給油所の廃止は住民生活に大きく影響します。

今回、給油所の維持を目的に施設改修工事において一定の要件を満たす場合、費用の一部を助成する補正予算を全会一致で可決しました。



対象の和田給油所

問 対象の給油所はどこですか？

答 市内にある給油所で、今回は旭町にある和田給油所です。

問 補助対象経費は具体的にどのようなものですか？

答 給油所における石油製品タンクに係る入れ替え、改修工事などです。

問 補助金額はどの程度ですか？

答 補助対象経費の3分の2以内の金額で、上限は1千万円です。今回は666万6千円の助成を行います。

問 助成の要件はどんなものですか？

答 ①15年以上給油所の運営を行うこと、②改修工事を行う給油所に対する支援組織があること、③支援組織が給油所の運営支援に係る15年間の計画書を作成し、実施することです。

マイナンバーカード 普及拡大へ市独自の取組



マイナンバーカード 申請サポートカー

令和4年度末までに、ほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目標に、普及拡大のため浜田市独自の取組を行います。

取組内容は、マイナンバー（第2弾）の受付期間終了後のポイントがもらえないカード取得者に対し、マイナンバーの代わりに浜田市共通商品券を配布すること、免許返納などで市役所に出向くことが難しい人や出張申請を希望する団体に対し、専用自動車で行く申請支援です。

問 どのような方が対象ですか？

答 マイナンバー（第2弾）の受付期間終了後にマイナンバーカードを新規で登録し、かつ、令和4年度中にカードを交付された方が対象です。

問 現在の普及率はどのくらいで、目標普及率は？

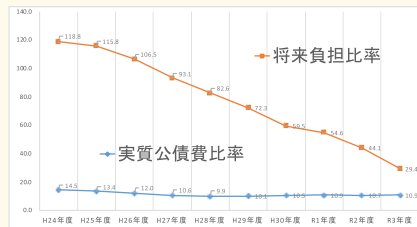
答 8月末までの総交付枚数は26,786枚で、交付率は52.7%です。交付率を70%まで高めることがこの事業の目標です。

問 申し込まれた団体の都合が良いという場合はどうなりますか？

答 基本的には平日の昼間を想定していますが、町内会の集まりは夜間や休日に行われることも多いと想定していますので、できる限り対応していきます。

財政健全化比率 県内8市中1位

令和3年度決算の認定により、普通会計の単年度収支は約4.2億円の黒字、4年連続の黒字が確定しました。実質公債費比率は0.2%上昇しましたが、約8億円の繰上償還を行ったこともあり、将来負担比率は約15%改善し、近年の傾向は左図のとおりです。



財政健全化比率の改善は老朽化した公共施設や橋などを更新しやすい環境になったとも言えますが、人口減に

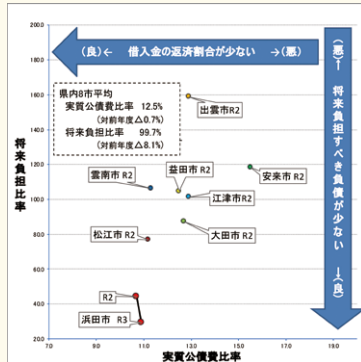
伴う財源減少も想定されるので、財政バランスは今後も要注視です。

問 実質公債費比率とは何ですか？

答 収入に対する1年間で支払った借金返済額などの割合です。数値が高いほど、資金繰りの危険度を示します。

問 将来負担比率とは何ですか？

答 収入に対する将来市が負担する借金などの割合です。数値が高いほど将来、財政を圧迫する可能性が高いことを示します。



議案等の賛否の公開

8月臨時会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。9月定例会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。各議員の賛否や反対理由、請願審議結果、陳情審査結果、討論などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

- 令和4年8月 ●臨時会議 ●市長提出議案2件
- 令和4年9月 ●定例会議 ●市長提出議案25件、議会提出議案3件、請願1件

議案番号	議案名等	賛成	反対
議案第63号	令和4年度浜田市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	20	1 足立
請願第5号	加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設及び意見書の送付について（請願事項1）	8	13 肥後、大谷、三浦、川上、柳桑、足立、岡本、佐々木、布施、岡本、西田、川神、田畑、牛尾
	加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設及び意見書の送付について（請願事項2）	20	1 岡本
発議第11号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書について	20	1 岡本

請願・陳情について審査しました 請願1件 陳情11件

請願の内容	提出者	結果
加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設及び意見書の提出について	全日本年金者組合島根県本部石見支部 支部長 深野 政勝 江津市二宮町主	一部採択

check! check! check!

令和3年度のお金の使い方

議会が厳しくチェック

9月は決算議会と言われるように、前年度の決算を審査し、認定することがメインです。



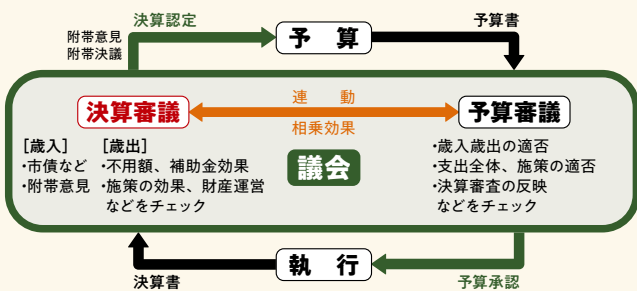
9月定例会議で令和3年度浜田市一般会計、特別会計、公営企業会計の決算審査を行いました。

決算審査は、予算（前年度の決算審査の内容や附帯決議が生かされ組み立てられた予算案を審議し認めたもの）がどのように執行され、無駄なく有効に政策実現がなされたかを、議員が決算資料を読み込み、質疑・確認・審査し、必要に応じて附帯決議を行います。図のように、決算審議は、予算審議と連動させ、よりよい政策実現を支えるシステムの役割の一つと言えます。このシステムを生かすため、各議員は質問・質疑を重ねることで審査します。今回は、143の質問の通告があり、慎重に審査しました。決算認定議案を全会一致で認定した後、以下の附帯決議を提出しました。

附帯決議（概要を掲載）

- 認定第1号 令和3年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について
 - (1)事業設計時に、適切な目標を明確に定め、執行後には予算の妥当性を振り返り、事業評価の精度を高め、市民福祉の向上を。
 - (2)情報公開の観点から、随意契約とした理由の公開の検討を。また、事業の明確化の観点から、再委託の確認は文書で。
 - 認定第8号 令和3年度浜田市水道事業会計決算認定について及び認定第10号 令和3年度浜田市公共下水道事業会計決算認定について
 - (1)公営企業会計の独立採算制の原則を第一に考え、より一層の経営改善を。
- また、工事体制等の明確化の観点から、再委託の確認は文書で。

予算・決算の流れ



音楽を核とした定住促進事業

「若者定住」全庁での支援体制を!

問 この事業は、発表の場や練習会場、そして子育てや教育など、全庁的な取組が必要な中、Uターン者の支援体制はできているのか?

答 練習場は担当課で施設を所管していないので、石央文化ホールや下府のコミュニティ防災センターを利用するなど、教育委員会や消防本部の協力を得ている。また、演奏の機会についても市民憲章大会や施設の竣工式など他の部署との連携も図っている。

問 この事業の目的が若者の移住とあるが、「定住」

への考えはあるか?

答 もちろん「定住」もしてもらえるよう今後も進めていく。

問 今まで浜田市で音楽活動をされてきている方々にも配慮が必要ではないか?

答 今まで活動しておられた音楽家の方々に尊重しながら事業をやっているように努める。特定地域づくり事業として、9月1日時点で全国に57の協同組合が設立されており、注目を集めている。この事業もシングルペアレント事業に続く特徴的な事業として作り上げていく。

見守り移動販売支援事業

見守りと移動販売、両立可能か?

問 執行率低調の理由が周知不足とあるが、他の理由はなかったのか?

答 補助要件や補助額において、事業をされる方が求める内容に見合うかどうかにも課題があった。

問 制度設計の見直しを早急に行い、事業を継続しないと、困られる方々がいるのではないかと?

答 現在検討の段階である。今後、事業者と話して改善していく。

問 買い物支援と見守りの両方だと事業者に負担がある。買い物支援を軸にしては?

答 地域政策としては、両方を目的に事業実施したいが、今後、事業者と意見交換を行う。

防災まちづくり推進事業

コロナ禍における防災対策は?

問 執行率が低調であるが、オンラインでの事業実施の検討はしなかったのか?

答 Webの使用は有効だが、令和3年度には、検討をしていなかった。

問 市民の主体的な活動を促すためにどのような取組を行ったのか?

答 自主防災組織の設立のための支援事業で、補

助金の制度化や専門スタッフのアドバイスなどを行ってきたが、最後までフォローできなかった。

問 コロナは令和2年からある。コロナを想定した組織率向上を図るべきではないか。

答 感染防止対策、Webの活用もしながら、組織率向上に向けて取組む。

☑子育て世代包括支援センター整備事業

施設に市産材を75%使用したが調達先は？

問 この事業は、木育、ふるさと教育、地域経済の循環の視点から市産材の利活用が言われてきた。どの程度活用されているのか？

答 目に見える部分は基本的に市産材で、見えない部分もなるべく市産材を利用し、施設全体で75%の市産材を活用した。

問 75%の市産材の調達先はどこからか？

答 市内業者とは価格面や納期で折り合いが付かず、納入業者は市外となった。

問 市産材75%の根拠はあるのか？

答 納入業者から認証を得ているが、75%の根拠については、改めて整理する。

☑水道事業会計繰出金

一般会計からの繰出金の妥当性を問う！

問 水道事業において、独立採算制の原則に基づいて、繰り出し側として、繰り入れ側の経営改善を踏まえ、繰出金の妥当性をどのように考えているか？

答 水道事業への繰出金は、総務省で認められている繰り入れ及び一般会計の負担とすることが適当である経費の繰り入れを市長部局とのルールに基づいて行っており、赤字補填のための繰り入れはない。ただし、今後、総務省で認められている繰出金が段階的に減額されていくことや、給水人口の減少による給水収益の減少など、水道事業にとって経営が厳しくなることが見込まれている。

経営改善の取組としては、これまで退職職員の不補充や、業務の民間委託、その上で、平成30年度から3年をかけて料金改定をした。

今後は10月に上水道と下水道の管理部門の統合を行い、お客さまサービスの向上に合わせた効率化や経費削減に取組むことにしている。

また、水道事業所有の遊休資産の利活用などについても取組んでいきたい。さらに、現在、島根県が水道事業広域化推進プランを策定中であり、策定後には具体的な取組について検討が始まるものと思っており、現状の繰出金は妥当である。

☑起業家支援プロジェクト事業

事業継続のために記録を残し、次に生かす！

問 この事業での起業者の実績は？

答 この事業は、平成26年度から実施しているが、すぐに起業することは困難である。今まで実績として、約260名が受講され、41名の起業につながった。

問 起業された41名の具体的な業種や傾向は？

答 全ては把握していないが、飲食業、福祉業が多く、

最近では、美容業の起業にもつながっている。

問 起業された事業の継続について、実態を確実に記録に残し、次の事業に生かすことが大切では？

答 石央商工会や浜田商工会議所と連携してフォローアップを行い、事業継続を支援している。



☑動物愛護推進事業

町内会・自治会を補助対象とした成果は？

問 猫の繁殖制限手術助成金の効果は？

答 令和3年度から事業拡充で町内会や自治会も対象としている。相談件数が増え、地域での取組状況も増えている。

問 この事業は毎年予算不足となり、年度途中で補正予算を組むが、当初予算要求時点で総額の検討は？

答 令和3年度は、当初予算で100万円を計上し、

補正予算で100万円追加した。令和4年度は、そのことを踏まえ当初予算を200万円で組んでいる。

問 動物愛護教室開催経費の決算と予算の差は、開催回数や参加者数が原因か？

答 教室は年1回であり、参加者の増減で金額は変わらない。この教室は、島根県との共催で行うため、差異が生じた。

☑広島プロジェクト推進事業

多様な事業実施に人員体制は十分か？

問 具体的にどのような販路の開拓につながったのか？

答 広島市の緊急事態宣言などコロナ禍の中、新規取引先1社（尾道市）の獲得、浜田産水産物を3社3品目で取引ができた。

問 販路開拓成立額の実績約1億1,900万円の内訳は？

答 訪問企業数18社、訪問回数51件、成立件数74件、新規3件である。金額は、販路先20社から聞き取りを行った。

問 合宿誘致につながった成果はあったか？

答 広島の手合宿塾の受け入れやスポーツクラブ、学校の合宿があった。一方、コロナ関係で9件のキャンセルもあった。

問 販路開拓やポートセールス、さらに合宿誘致など多岐にわたる事業を行うに当たり人員体制は問題ないのか？

答 名簿を活用した効率的な業務を行い、山陽に詳しい駐在員の配置などで特に問題なく運営している。

☑「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業

浜田応援団との連携・協力はできたのか？

問 浜田産魚の消費拡大の実績は？

答 コロナの影響でなかなか実績が出ない中、新たな販路拡大を目的として、新事業展開や新サービスの創出を図った。約150万円の売り上げ増加につながった。

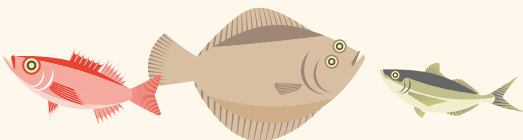
問 浜田産魚のブランド化のコア事業であるが、年間の目標を設定された中で150万円増はどういう評価か？

答 50社程度の会社で年間180億円を維持するこ

とが困難な状況の中、新商品開発や販路拡大を推進し、この度は150万円であった。補助金を出すだけでなく、フォローや課題解決の支援も行う。

問 P R補助金で、浜田応援団との協力体制構築の検討はされたのか？

答 浜田応援団の方が浜田の仲間業者の方と連携してイベントを開催した。今後、県外活動でも浜田応援団の団員の方と連携していきたい。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

21人が個人一般質問



こちらから動画をご覧ください。



3 すべての人に健康と福祉を



すべての人に健康と福祉を

認知症の人にやさしいまちづくりを

Q 認知症の人にやさしいまちに向けて、理解を広げることが重要である。認知症サポーターの目標値の設定の仕方や受講者のアンケート結果を踏まえて、キャラバンメイトと共に講座内容も考えていく必要があるのでは？

A 今のアンケート方法などを見直して今後の取組に生かしたい。

Q 認知症になっても暮らしやすいまちにするためには、現在、市が推進している協働のまちづくりの中で、地域団体と連携して、社会教育×まちづくりの視点でも進めていく必要があるのでは？

A 今、弥栄支所において、認知症サポーター養成講座開催後、住民とのワークショップを実施するよう企画を進めている。



村武 まゆみ

マイナンバーカードの普及策は

Q 普及促進への取組の状況は？

A 休日窓口の実施、商業施設などでの出張申請受付などを行っている。国によるマイナポイント事業終了後も申請数維持のための市独自のインセンティブ制度の構築や、市役所に出向くことが難しい方への申請サポートカーによる出張申請サポートを予定している。

Q カードを取得したがマイナポイントの申請方法が分からず、そのままにされている方が多いようだが、申請をサポートする考えがあるのか？

A 本庁総合窓口課や各支所の市民福祉課においてカード発行時やすでにカードを取得された方へマイナポイントの申請手続きをサポートしている。



肥後 孝俊

臨時交付金を活用し介護事業者への支援を

Q 地方創生臨時交付金を拡充し「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分一」を活用し、浜田市独自でもこれまで生活者支援や事業者支援が進められている。先般、会派として行った緊急要望や一般質問で取り上げた項目の中の「介護事業者への支援」について、国からの報酬加算は極めて少なく、市の独自支援が検討できないか再度問う。

A 原油価格・物価高騰などによる介護事業者への支援の必要性は承知しており、自治体任せにしていよう国の支援について市長会を通じ要望している。事業者からの支援の要望が高まれば、医療機関や福祉サービス事業者を含めた総合的な独自支援が考えられると思う。



佐々木 豊治



質の高い教育をみんなに

登下校時を含めた学校における安全確保を



上野 茂

Q 8月、校庭の木が校長先生の頭に落ちて亡くなったという痛ましい事故があった。校庭や通学路での危険木の確認はできているのか問う。

A 通学路の危険木については、毎年度初めに、学校と保護者で通学路の安全点検を行っている。「浜田市通学路安全推進協議会」においては、国・県・市・警察で現地確認を行い、対応している。

Q 高台にある旭中学校は米軍機の低空飛行による爆音に悩まされている。特別教室にはエアコンもなく、この夏の猛暑でも窓を開けられない。エアコン早期設置の考えは。

A 優先順位の高い特別教室を精査し、中期財政計画に盛り込むための検討準備に努める。

理数教育の充実で社会の創り手の育成へ



大谷 学

Q 令和4年度の教育方針へ新たに「理数教育の充実」を加えた背景は？

A 物事に対し根拠を持つて論理的に思考することは、どの仕事でも必要で、この力を育て児童生徒の進路選択を広げ社会の創り手となることを期待。県も推進しているため。

Q 理科振興法に基づく国の予算獲得への準備は？

A 議員の指摘を受け各学校に調査した結果、約4千万円の要求があった。精査し優先順位を付けて4年程度で整備したい。

Q 理数教育が充実したと評価する観点は？

A 全国学力・意識状況調査の正答率などを平均点レベルまで追い付くとともに市内の理数科の募集定員の充足も評価の観点となるので注視したい。

統合幼稚園、さらには新園建設を問う



牛尾 昭

Q 入り口付近などが不便と苦情があるが対応は。

A 入り口に新たに看板を立てたり、カーブミラーを付けたりして、より見やすくしたい。

Q 新園建設の考えは。

A 公立幼稚園を一園は存続させたい。子どもの数や保護者のニーズを把握し、建設場所や費用を検討していきたい。

Q 現在、基金残高が約170億円。その中で、ふるさと納税の青少年健全育成枠と市長の裁量権の基金は合わせて9億円あり、財政的に余裕がある。今こそ新園建設に取り組むべきでは。

A 過疎債の期限があと8年半なので、それまでに規模や場所を検討し、新しい場所に新園を造る方向で進めたい。

高齢者などに向けたデジタル活用支援推進は



布施 賢司

Q 政府では、高齢者などが身近な場所で身近な人からデジタル活用について学べる講習会などを推進する「デジタル活用支援推進事業」を開始している。事業実施に向けた浜田市の取組状況は。

A 国の補助事業の活用を検討してきたが、申請の要件である法人格を満たすことができず、事業化には至っていない。

Q 事業化するには、補助金に頼らず市で予算化して、長年各地区で高齢者向けICT（情報通信技術）講習会を実施してこられた「シニアネットはまだ」と連携して、この事業を推進すべきでは。

A 連携し事業を進めることはデジタル機器活用の普及促進にもつながる。実施に向け検討する。



働きがいも経済成長も

地域課題の解決に労働者協同組合の活用を



柳楽 真智子

Q 10月1日に施行される労働者協同組合法は、多様な就労の機会を創出するとともに、持続可能で活力ある地域社会の実現を目的としている。組合設立による協働のまちづくりの推進への期待は。

A 実践団体の事例を見ると、事業を通じて地域課題へ貢献することに重きを置いている。市が推進する協働のまちづくりにおいて、地域産業の活性化、介護事業や子育て支援など、課題解決のために実践する手法として活用できると考える。

Q 協働推進研修会が各地域で行われる際に労働者協同組合の周知ができないか。

A 地域の活動に関する情報提供に併せて、チラシの配布などを行う。



産業と技術革新の基盤をつくろう

浜田市弥栄肉用牛改良流通センターの今後は



申崎 利行

Q 弥栄の肥育センター、浜田市弥栄肉用牛改良流通センターは、平成8年に旧弥栄村が設置し、JAに運営委託し、現在まで県西部の畜産振興に多大な役割を果たしてきた。特に素牛の買い支えは、繁殖農家には大きな意味があった。この度、JAの赤字経営が続いている状況で和牛肥育の運営から撤退する方針を決定したが、市の考えを問う。

A JA撤退方針は、地元繁殖農家や地域の畜産農家に大きな影響を及ぼすと考えており、市としても島根県や管内の江津市とも連携しながら、畜産農家やJAと一緒に、畜産地域の肥育事業をどうするか、考えていく。和牛肥育事業を推進するため必要な施設である。

農業用資材の高騰に対する対策は



永見 利久

Q 農業用資材の高騰の状況について認識を問う。

A 原油、原材料価格の高騰や円安により、農業用被覆材・肥料・飼料などの農業用資材も高騰している。中でも輸入に頼っている化成肥料は約45%値上がりしている。

Q 高騰に対する対策は。

A 国が令和4年度コロナ等対策予備費で「肥料価格高騰対策事業」を788億円予算化した。これは、化学肥料の低減に向け取組む農業者への肥料費の支援で、申請方法などが決まり次第、JAと県と連携して取組む。

Q 水稲に対する支援は。

A 中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度で支援してきた。今後も持続的に水稲営農の取組を支援する。



住み続けられるまちづくりを

新たな時代に応じた街並み整備を



沖田 真治

Q 当市の住宅総数に占める空き家率が全国平均を大きく上回る。この状況をいかに捉えているか？

A 重要な対策課題の一つと認識している。とりわけ老朽化した危険空き家はさまざまな観点から大きな問題であり、平成26年の空き家特措法制度以降、市独自の取組を多種に行っている。

Q 市内の沿岸部は車が行きにくく狭い道路に面した場所に古くからの宅地が多くある。道路を拡幅することで大きく改善すると考えるが？

A 拡幅の必要性は理解するが課題も多い。地域の実情に応じた対策を強化していく必要があると考えるが、多額の費用を要するため、財政支援を国や県に求めたい。

住み続けられるまちづくりを

地区防災計画の策定で地域防災力アップ



村木 勝也

Q 地域が地区防災計画について、話し合い、作成し、共有し、見直すことが、地域防災力の向上になると考えられる。そして、地域防災力の向上とは、「自治会活動そのものが防災・減災につながる」と思う。よって、日頃から、地域住民が声を掛け合い、自治会活動に積極的に参加・参画するとともに、顔見知りになるよう、コミュニティ力のアップに心掛けることが重要であると思う。

A 計画の策定は、今後推進していく必要がある。国や県、他の自治体の動向を注視し、引き続き研究を進める。

人口減少する現状と真正面から向き合う！



足立 豪

Q 浜田市は「消滅可能性都市」に該当しているが、現在の人口と総合振興計画の人口推移を比較した場合の考え方は？

A 令和4年3月末と令和4年7月末を比較すると354人減で想定範囲内で推移している。

Q 令和4年度の予定出生数をどう捉えているか？

A 今年度の予定出生数は270から280人程度と考えている。

Q 人口減少と出生数の現状を踏まえ、今後の行政運営をどうするのか？

A 浜田には大企業がないため、引き続き産業振興や企業誘致に力を入れていく。また、今年度から取組んでいる「若者対策」として若者の意見も伺いながら、さらに施策を充実させたい。

戦略的な地域活動支援を



三浦 大紀

Q 各地域でまちづくり活動を考えてもらう際には、意識共有しやすいテーマから働き掛けるべきでは。

A まちづくり推進委員会の設立にも有効な考え方。コーディネーターの配置などにおいても検討する。

Q まちづくりセンターへの移行や、まちづくりコーディネーターの配置などに要する1億円の財源を捻出するため、行財政改革の観点から、同等額を削減するとされている。新しい仕組みへの移行には賛同するが、これまで取組んできた事業費の縮減・削減によって、総体的に見て、活動の停滞・後退を招くことにならないか。

A まちづくり機能の充実によって、地域課題の解決や自主的な活動の推進につながるかと考えている。

市民の声に 地域の実情に その生活に応えよ



芦谷 英夫

Q 地域の目を実施し、市民の声や地域の実情を把握し、どう政策に生かすのか。従前の地域要望事項の提出の復活は。

A 地域の日は、市長が直接意見を聴き、施策に反映させる。地域要望事項はどのような仕組みがよいのか検討したい。

Q 現在の自治会加入率は。

A 75%程度である。

Q まちづくり総合交付金算定に加算すること、加入率向上につながるのか。

A 提案は検討したい。

Q 要望のある買い物支援について、通所デイサービスに買い物リハを上乘せしてはどうか。

A デイサービスと買い物リハを組み合わせ、生活支援ができる。事業者と相談し協力したい。

住み続けられるまちづくりを

過疎地に必要な対策は



川上 幾雄

- Q** 人口減少により過疎地と呼ばれる地域が生まれている。浜田市における合併前の過疎地を問う。
- A** 当時の過疎法においては那賀郡旧4町村が指定されていた。
- Q** 現過疎法においては、一部過疎要件に当てはまる地域が市面積の2分の1以上となり「みなし過疎」と指定されているが、国の措置を問う。
- A** 一つに「財政措置」があり、過疎地域における施設整備や地域医療の確保、集落の維持・活性化などが「過疎対策事業債」を財源とし、実質市の負担が3割で実施できる。
- Q** 今後過疎地域へどのような効果を生み出すか？
- A** オール浜田として、必要な地域に過疎債を活用して事業を行いたい。

空き家の有効な利活用に新たな補助制度



岡本 正友

- Q** 団塊世代の所有する住宅が中古住宅市場に出回る予測から、総務省は「空き家予備軍」は4軒に1軒に上る深刻な状況を示した。この中古建物をストック建築として有効に利活用できる支援制度が必要である。現行の補助制度に加え、誰でも中古住宅の取得とリフォーム助成が活用できる新たな補助制度の考えを問う。
- A** 空き家対策は重要な施策である。少子高齢化が進み、既存住宅のストック数は増加している。現在、国や県のストック建築住宅に対する補助制度はない。島根県市長会や広島広域都市圏協議会などを通じて国・県への財政支援を要望していく。また市独自の支援策も検討してみたい。

石見神楽振興で地域の未来を開け!



川神 裕司

- Q** 神楽産業の文化財指定の重要性を指摘してきたが、その後指定に向けての現状を聞きたい。
- A** 現在、石見神楽に詳しい委員にも就任していたが、早急な指定を目指し、作業を進めている。
- Q** 「石見神楽を生み出したまち浜田」を掲げている浜田市としては、「石見神楽伝承施設」の設置は不可欠と考えるが所見を聞きたい。
- A** 国立劇場公演で、「石見神楽の本場浜田市へお越しください」と話したが、当市には石見神楽のことが分かる施設がない。今回三桜酒造跡地活用案の一つに、石見神楽伝承館の提案もあり、市で跡地活用するとすると、検討委員会です「石見神楽伝承館」も検討したい。

浜田地域協議会との意見交換会での声



田畑 敬二

- Q** 県管理河川へ流れ込む市管理の河川のしゅんせつはどのような状況か。
- A** 市管理河川については、今年度から令和6年度までの3年間において、緊急浚渫推進事業を活用し、重点的に実施する。計画では22河川での実施を予定している。令和4年度は9河川のしゅんせつを行い、来年度以降も順次発注する予定である。
- Q** 今年度のしゅんせつ予定河川はどこか。
- A** 青川・田橋川・小瀬原川・追原川・大津川・西の郷川・門田川・尾実川・鬻谷川である。
- Q** 青川は、約3杯の木が伸びているが、状況は把握しているか。
- A** 把握している。今年度から2力年に対応する。



陸の豊かさも守ろう

計り知れない中山間地域のポテンシャル！



西田 清久

Q これからの浜田市の経済力は、どこで生まれ、何によって成長するのか。経済の柱の考えは。

A 農林水産業、加工・製造業などの地域外需型企業に期待。特に有機農業を柱とした農業が成長産業と捉える。

Q 中山間地（里山）の持っている潜在能力や将来の可能性は。

A 地方移住への関心も高まり、ツーリズム体験、廃校や遊休施設を活用した事業者誘致など、ビジネスづくりの可能性は大。

Q 都市部からの体験教育旅行が増加。廃校に予算を掛けて宿泊体験施設に改修する考えは。

A 中山間地域振興枠の中で、有効活用を検討。また地域と一体となった取組、活用方法も検討。

深刻化し始めたサル被害への対策を



小川 稔宏

Q サルの目撃情報、農作物被害、身の危険を感じるなどの声がある。生態と被害把握状況を問う。

A 昨年10月、国分町で10頭以上の群れを確認以降、三隅町岡見、弥栄町木都賀などを転々とし、最近では長浜、日脚周辺に出没し、江津方面からの移動と思われる。家庭菜園の被害はあるが、人的被害の確認はない。

Q 駆除の考え方、通学路の安全対策、注意喚起や被害防止策を問う。

A 住宅付近では銃が使用せず専用おりを設置するが、警戒心が強く1頭の捕獲にとどまる。目撃情報は町内会長や教育関係者などへ連絡し、注意喚起を行う。市職員や警察でパトロールを行い、被害防止に努めている。

「浜田市議会 こどもの権利を考える 議員連盟」設立



令和3年7月に実施した「はまだ市民一日議会」において、市民の方から、今を生きる子どもたちの尊厳と権利を保障するために、「浜田市子ども条例」の制定を検討してほしいという意見がありました。その意見を受け、議員間でも検討し、子どもの権利について議論をしていくことが必要であるという会派を超えた議員8名が集まり、令和4年8月18日に「浜田市議会こどもの権利を考える議員連盟」を設立しました。



少子化や核家族化など社会構造の変化は、人間関係や地域社会のあり方など、子どもを取り巻く環境に対しても大きく影響を与えています。いじめや児童虐待等の問題も深刻化しています。全ての子どもたちが健やかに、自分らしく育つために、「子どもの権利」は当たり前には守られなくてはなりません。この浜田市においても考えていく必要があります。

今後、市民団体との意見交換や先進地への視察などで調査研究を重ね、子どもの権利についてしっかりと議論を重ねていきます。

第8回目の市民対談として、石見神楽社中連絡協議会青年部で副部長を務める2人の舞い手の方にお話を伺いました。
(インタビュアー：肥後 孝俊、川神 裕司)

地域の財産「石見神楽」を次世代へ

石見神楽社中連絡協議会青年部

副部長 深ヶ迫 優太さん

副部長 後藤 純希さん

コロナで変わった石見神楽

——もう2年も前のことになりましたが、コロナ禍以前の石見神楽をどのように捉えていましたか？

深ヶ迫 石見神楽は「祭り」っていう基本的なところがあって、イベントにしてもフェスにしても「祭り」じゃないですか。人間って、どんちゃん騒ぎするのが楽しいし、余興じゃないですが、賑やかな石見神楽っていうのは大事なものだと思います。「祭り」で、浜田を盛り上げていければ、これほど嬉しいことはないです。

後藤 なくてはならないものですし、地域の財産だと思っています。神楽が始まれば自然と人が集まる、囃子が聞こえると

足を運び、昔からこの浜田の地の人々の心に根付いたものだなと。

——石見神楽に対するコロナの影響はとも大きくて、議会でも話題になっています。コロナ禍で変化したことについて、当事者としてどう思いますか？

後藤 「祭り」が次々と中止され、この公演に向けて頑張るぞ、という目指すべきものがなくなり、いつになったら以前のようにならなくなるかと、エンジンがかからない状態になり、もやもやした状況がありました。団員の神楽に対する熱量の維持に苦労しました。

深ヶ迫 「祭り」が中止になることで、出演料が

なくなり、衣裳代や練習会場の維持費などの支払いに一番苦労しました。ただ苦労ばかりではなかったです。空いてしまった時間を使って新しいことへの挑戦もできました。演目を作ったり、ゼロから企画した自主公演を開催したりしました。社中を運営していかなければいけない、お客さんも神楽を観たい、自分たちも舞いたい、じゃあお客さんが満足してもらえような舞台を自分たちで作ろうじゃないかと、コロナ禍で生き抜く方法を見つけました。

——たくましいですね。コロナ禍で試行錯誤しながら開催した公演の反響はどうでしたか？

深ヶ迫 県外の方が石見神楽を観に来られて、「す





左：深ヶ迫 優太（ふかがさこ ゆうた）さん

石見神楽 佐野神楽社中に所属。神楽歴は26年。有明、大江山、三上山で鬼役を演じる。

右：後藤 純希（ごとう じゅんき）さん

石見神楽 美川西神楽保存会に所属。神楽歴は25年。天神の菅原道真公、大蛇の須佐之男命役を演じる。

「いぞ」とびつくりされるんですよ。やはり嬉しいですね。

のですが、何やつても喜ばれるんです。石見神楽って、人の心に響くものなんです。

次世代へつなぐ石見神楽

——東京公演はとても盛況でしたよね。大蛇50頭という演出には驚きました。

深ヶ迫 私たちが生まれ

たところの歴史があり、石見神楽が受け継がれ、今この時代に東京国立劇場で大蛇50頭出すという演出もできたということですね。少し変えるところ、変えないところ、大きく変えるところと、世の中や時代に合わせた変化と進化を続ける伝統芸能が石見神楽だと。だから、観る側にも舞う側にも支持されているんだと思います。

——コロナ禍で新たに表面化された問題もあるんじゃないですか？

深ヶ迫 奉納神楽が減りつつあるんですが、地域から人が減り、「祭り」が継続できないと、根本的な神楽が生まれたところがなくなってしまうのではと心配しています。

後藤 観る側にも変化があります。例えば夜明け舞が減り茶利舞という長

時間の演目が時代の変化で少なくなり、面白さの一つであるコテコテの浜田弁での掛け合いのある演目が薄れつつあります。

深ヶ迫 一方で外国人の

記者が石見神楽取材に來られ2時間で帰る予定だったのが、結局朝まで観られました。言葉は分からないですが、緩急自在で力強く生き生きと躍動する舞い手と調子を合わせた奏楽に心を動かされたのかなと、さまざま演目の違いによる面白さに引き込まれたのかなと思います。

——将来の舞い手となる子どもたちに、石見神楽をどのように伝えていくのでしょうか。

深ヶ迫 舞台上立つ以上子どもたちにとって、カッコいい舞手になり、憧れの存在になりたいです。自分もそうなりたいと練習を続けていくうちに、自然と受け継がれていくものかなと思います。

後藤 子どもから大人まで一緒にやって神楽の練習に取り組んでいます。部活動みたいなもので、そ

ろ親に言われるより周りの大人に言われる方が子どもたちにも響くんじゃないでしょうか。

深ヶ迫 人間形成の場ですよね。そんな日の本一の伝統芸能だと思っ

ている石見神楽を次世代につないで、いつの時代の人々にも適合し続ける石見神楽であってほしいと願います。



レポート



総務文教委員会

新条例のポイントを整理

多様性社会の推進をテーマに、研究を進めています。浜田市人権同和教育啓発センターは、(仮)浜田市人権尊重のまちづくり条例の制定を目指して、検討委員会を9月に設置しました。令和5年3月定例会議への上程をめどに、計4回の検討委員会が開催されることとなっています。パブリックコメントは12月頃の予定です。

先日の委員会では、全国約50自治体の条例を参考事例として、条例策定に当たってのポイントを洗い出すとともに、委員間協議を行いました。それぞれの条例からは自治体の考え方がよく見えてきます。浜田市らしさが表現された条例ができるよう、また、その理念の下に効果的な関連事業が実施される仕組みづくりも意識しながら、引き続き協議を重ね、当委員会からも意見書を提出する予定です。

福祉環境委員会

「誰もが働ける居場所づくりを」

当委員会の取組課題「就労支援を含めた障がい者支援」の今後の進め方を協議しました。

目指す方向性としては、障がい者一人一人が自らの能力や適性などに合わせて働くことができる多様性と、包摂性につなぐ共生社会の実現とし、そのために障がい者が自信を持って働ける環境整備と事業所への取組、働く側と受け入れ側双方に対する支援の必要性を確認しました。

そして、コンセプトを「誰もが働ける居場所づくりの創設」とし、委員会としての取組は、関係者の皆さんの意見を網羅するため、教育機関や事業所からの聞き取りを行うこと、本人や家族の意向を確認するなどの意見交換から始めることを協議しました。各委員も障がい者福祉についてしっかり勉強して把握する必要があるため、今後、市担当課の協力を得て勉強会を行います。

産業建設委員会

農業者との意見交換を実施

当委員会では、人口減少が進む浜田市における一次産業の後継者不足対策として、浜田市の基幹産業である漁業に引き続き、2人の小規模農業法人経営者の方と農業の抱える課題や問題などについて意見交換をしました。

- ①スマート農業の必要性
- ②新規就農者への支援
- ③U・Iターン者の定着
- ④再圃場整備（面積拡大）
- ⑤規模に応じた施設や機械購入費
- ⑥JAの低下した機能
- ⑦農林業支援センターの連携

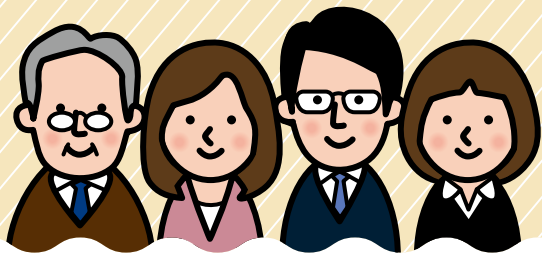


田んぼアートの様子

以上は、意見交換で取り上げられた問題点や意見の一部です。意見交換したお二人の農業に取組む確かな姿勢と思いに、今こそ委員会として取組む必要のある課題が伺えました。



雪で倒壊したビニールハウス



委員会活動

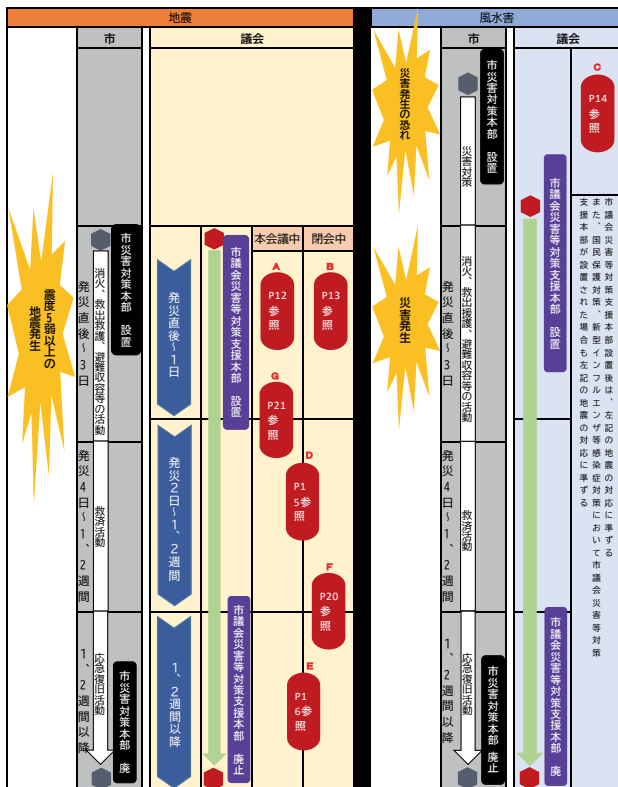
議会改革推進 特別委員会

議会BCP案の策定中

現在当委員会では議会BCP（業務継続計画）案の策定を進めています。これまでの議会だよりでも進捗についてご報告していますが、今回は地震、風水害などの災害について検討しました。その後、令和2年から感染が拡大した新型コロナウイルスなどの感染症に関する対策について検討しています。

また、災害などが起こったときの議会や議員が素早く動くことができるように、具体的な行動について検討し、災害発生時の行動俯瞰図（下図）などを作成しました。そして行動計画が災害時に遂行できるよう、議会主導の避難訓練も検討しています。

いつ起こるか分からない災害に備えて、しっかりとしたBCPになるよう、策定案の完成に向け、引き続き検討を重ねていきます。



議会運営委員会

議会基本条例の一部改正を可決

議会の憲法とも称される議会基本条例の見直しを4年ごとの改選後に行うことを条例で定めており、議会運営委員会において作業を進めてきました。社会状況や時代・意識の変化に適応させ、議会改革の進捗と役割を踏まえ、各会派で検討した意見を集約し検討してきましたが、効率的に進めるためワーキング会議を設置し、3回の議論を積み上げてきました。

前文の検討をはじめ、新たな取組などがあった場合の基本条例への反映の考え方や広報広聴の充実の考え方、ジェンダー平等や委員会代表質問についての記述方法などを検討し、逐条解説も併せて最終案としてまとめました。法令審査を経て、再度議会運営委員会で条例改正案を確認し、9月定例会議最終日に議会運営委員長から提案し、全会一致で可決成立しました。

協働のまちづくり推進 特別委員会

まちづくりコーディネーターとの 意見交換会を実施

コーディネーターの方からは、「それぞれの地域に応じた関わり方を工夫しながら、地域住民が主体となって課題解決ができるように対応している」、「自分たちの活動を示すためにSNSの活用を検討している」。などの様子が伺えました。今後、まちづくり組織や執行部との意見交換や先進地視察など調査研修を重ね、必要な提言などを行います。


はまだ議会だより Vol.67 読者アンケート

お 住 まい	年 齢	※今回は、アンケート締め切り日と本紙編集作業の関係で、Vol.66に寄せられたご意見・ご要望への回答を掲載できません。次号で回答させていただきます。
町	歳	
Q1 今号で気になった記事はどれですか？その理由は？		
①ポイント、トピックス(P2,3) ②議会が厳しくチェック(P4,5) ③市政を問う(P6~11) ④市民対談(P12~13) ⑤委員会活動レポート(P14~15) ⑥その他		
理由 ()		
Q2 自由意見 (浜田市議会へのご意見やご要望などをお聞かせください)		

最寄りのまちづくりセンターの回収箱へご投函ください。ウェブでの回答はこちらから。⇒
集計の都合がありますので、11月末日までにご回答をお願いします。



キリトリ

12月 定例会議の 予定

12月1日(木)から19日(月)までです。
個人一般質問は12月2日(金)から7日(水)。
ぜひ傍聴にお越しください。
※変更になる場合があります。

はまだ議会だより miniも 見てね



10月1日号はご覧いただけましたでしょうか。
miniも掲載を始めて2年が経過しました。
浜田市議会HPにウェブ版として掲載しています。
こちらのQRコードからぜひご覧ください。
次号は12月1日に発行予定です。お楽しみに〜♪

表紙について

このたびも浜田市世界子ども美術館に作品提供のご協力をいただきました。オーストラリアの女の子(7歳)が描いた「夢でみた魚」。どんな物語だったのでしょうか。10月15日(土)からは、同館で「鏡の不思議展 ~ミラクルミラーワールド~」が始まっています。鏡の中に広がるユニークな世界をお楽しみください。

議長なんでもメール

議長や市議会に関するご意見・ご要望・ご提言など
お気軽にお寄せください。



あしがき

11月5日は、「津波防災の日」です。平成23年の東日本大震災で、津波によって多くの人命が失われたことを受けて、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」によって制定されました。

なお、嘉永7年(1854年)11月5日は安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際に、稲わらに火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんだ日でもあります。この日に併せて、11月初旬に市内で津波を想定した避難訓練が行われます。津波に対する日頃からの「備え」を確認しましょう。

(記 村木 勝也)

編集委員

委員 長	三浦 大紀
副委員 長	村武まゆみ
委員	肥後 孝俊
	村木 勝也
	大谷 真治
	沖田 幾雄
	川上 裕司
	小野 稔宏
	川野 裕司

★この議会だよりは一部あたり37・07円(税込)です。